

25R171

東海大学医学部付属病院にて

「アレルギー性気管支肺真菌症の診断・治療指針確立のための症例登録研究」に
同意された患者さんおよびそのご家族の方へ

生命科学・医学系研究に対するご参加のお願い

【研究の実施について】

東海大学医学部付属病院では、臨床研究「アレルギー性気管支肺真菌症の診断・治療指針確立のための症例登録研究」（2013年7月24日～2019年3月31日）に同意された患者さんの試料・情報を使い、病気の理解や治療法の向上を目的とした研究を行っています。

この研究は、東海大学医学部臨床研究審査委員会の承認を受け、法律や倫理指針に従って実施されます。患者さんの個人情報、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して使用いたします。なお、研究成果は、学会や論文で発表されることがあります。

【参加を希望されない場合】

ご自身やご家族の試料・情報を研究に使用されたくない場合は、研究成果が公表される前までに、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡があれば、研究対象から除外いたします。但し、研究成果の公表手続きがなされた後には除外することができませんので、ご了承ください。

なお、本研究へのご参加の有無が診療や治療に影響することはありませんのでご安心ください。

【研究の概要】

対象者：西暦2013年7月24日～2019年3月31日の間に、臨床研究「アレルギー性気管支肺真菌症の診断・治療指針確立のための症例登録研究」に同意された方

研究課題名：アレルギー性気管支肺アスペルギルス症/真菌症の臨床像と予後の検討

倫理審査番号：25R171

研究期間：【許可日】～2030年3月31日

26～320

【本研究の目的・意義】

本研究の目的はアレルギー性気管支肺アスペルギルス症/真菌症（ABPA/ABPM）の臨床像・予後の多面的解析を行い、本邦の実情に則した診断・治療指針作成の基礎資料とするとともに新たな診断・治療マーカーの創出を目指すことです。

【使用する試料・情報の例】

試料：「アレルギー性気管支肺真菌症の診断・治療指針確立のための症例登録研究」（13R-107）で得られた真菌および血液検体の残余検体

情報：診療録からすでに抽出された臨床症状、既往歴、治療内容・治療反応性・予後情報、一般血液検査（血算、細胞分画、総IgE等）、真菌特異的IgG・IgE、沈降抗体、QOL（AQLQ質問票およびSF-

36 質問票)等は「アレルギー性気管支肺真菌症の診断・治療指針確立のための症例登録研究」(13R-107)ですすでに測定済のデータを用いる。

[個人情報の取り扱い]

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して、第三者には個人が特定できない形で使用します。加工する前の個人情報と研究データを結びつける一覧表(対応表)は厳重に管理し、研究終了後5年後もしくは成果発表から3年後の何れか遅い方に破棄します。

[情報の開示について]

ご希望があれば、研究計画の資料やご自身の情報について、可能な範囲で開示いたします。ご家族と一緒に説明を受けることも可能です。ご不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

[研究資金・利益相反^{りえきそうほん}について]

この研究は、日本医療研究開発機構 免疫アレルギー疾患実用化事業「居住環境・体内環境へのアプローチによるアレルギー性気管支肺アスペルギルス/真菌症の病態解明と臨床的課題の解決」を活用して行われています。研究代表者および分担者は、資金提供元である日本医療研究開発機構と経済的な利害関係を持っていません。したがって、現時点で開示すべき利益相反はありません。

[研究組織]

研究機関名：東海大学医学部付属病院呼吸器内科

研究責任者所属・氏名：呼吸器内科・小熊 剛

その他、本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

[お問い合わせ先]

東海大学医学部付属病院

電話：0463-93-1121 (代表) 内線：2212

研究責任者(代表者)：呼吸器内科 小熊 剛

[更新履歴]

2026年1月8日 第1版